

つちだりポート

9回裏劇的な3安打で決勝戦に繋ぐサヨナラ勝利
代打大野選手・1死1塁からレフト線を破る決勝二塁打

安打	0	1	0	0	0	2	0	0	2	5
鷺宮製作所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	0	0	0	0	0	0	0	2X	2
安打	0	1	1	0	0	1	1	1	3	8

鷺宮製作所 西村(6回)・赤間(2回 1/3)・×野口(0)-----永松
明治安田生命 大久保(5回 1/3)・○重信(3回 2/3)-----野地

二塁打 増野・大野 (明治安田)

NTT 東日本戦に続き鷺宮製作所戦 9回裏奇跡的な攻撃、代打宮川レフト前にクリーンヒット続く3番荒川がライト線にヒットで1塁走者宮川3塁へ、無死1・3塁4番加藤2ボール2ストライクの並行カントからセンターへ大飛球の犠牲フライで3塁から宮川同点のホームイン。なお、1死1塁5番竹内(一)に代わって大野が代打として打席へ、ここで鷺宮製作所は7回から登板の赤間に変えて3番手野口に継投カント2ボール2ストライクの5球目を大野はコンパクトのスイングでレフト線へ運び1塁走者荒川は2・3塁とペースを蹴ってサヨナラのホームイン。

今日のゲームも大久保・重信両投手
の好投が勝利を呼び込んだ。

好投先発大久保投手



特に野手の好プレーが光り守りのリズムが素晴らしかった。反面前半打撃は送りバントの失敗がありリズムに乗れなかった。

影のヒーローはベンチワーク、林監督の采配は見事でした。6回好投の大久保の球威が落ち落ちた(1死1・2塁)と見るや2番手重信に継投させ次打者を投手ゴロで1---4---3のダブルプレーでピンチを凌いだ。

攻撃では9回2番井村に変えて宮川を代打に適用し期待に応えレフトへクリーンヒット、続く荒川に強打を託しライトへ繋ぎのヒットを生み、加藤の犠牲フライ、で同点。

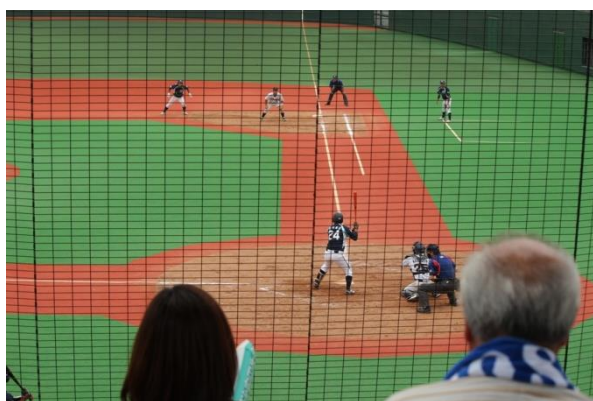


4番加藤のセンターへ同点犠牲フライ



3塁ランナー宮川、同点のホームイン

竹内(一)の代打に大野を立てサヨナラの舞台を演出した勝負師の面目を發揮した名将林監督に敬意を称する。



殊勲の代打大野の打席



殊勲大野を迎えるナイン



新聞記者のインタビューに応える大野選手



名将林監督の満面の笑み

鷺宮製作所は旧明治生命創部以来の好敵手として数多くの公式戦を戦ってきた。

特に 2007 年は第一代表を争って 0 対 2 で敗れ、関東代表決定戦で JFE 東日本を破って第 78 回都市対抗野球大会に出場した経緯があった。

決勝戦は長年のライバル東京ガスと東京都第一代表の名誉を賭けて 6 月 2 日(火) 13 時から大田スタジアムで戦います。明和会会員の皆様の温かい応援をお願いいたします。

東京ガスは都市対抗野球大会 17 回出場を誇る強豪且つ名門チームです。

明治安田生命も 1958 年創部以来幾多の厳しい状況を乗り越え都市対抗野球 4 回の出場を飾っております。是非 5 回目の出場を東京都第一代表で東京ドームへ。

2015 年 5 月 29 日

土田唯雄